

保護者 様

菊川市立河城小学校長

学校評価アンケートのまとめについて(お知らせ)

今年度も残りひと月となりました。ここまで安全・安心な教育活動が進められたのも、保護者の皆様の温かい御支援と御協力の賜物です。ありがとうございます。

さて、2学期末に保護者の皆様に御協力いただいた学校評価と、学校運営協議会でいただいた御意見、本校教育の成果と課題等を報告すると共に、次年度への展望もお知らせします。

アンケート項目と肯定的評価の割合

		児童	保護者	
		2学期 (1学期比)	2学期	
菊川市 小中 学校 共通 項目	1	学校が楽しい	95% (+1)	92%
	2	みんなで何かをするのは楽しい	98% (±0)	96%
	3	授業に主体的に取り組んでいる	92% (-1)	69%
	4	授業がよくわかる	94% (+1)	81%
	5	学校に、信頼することのできる先生がいる	96% (+2)	91%
	6	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	85% (+8)	85%
	7	学級の友達と話し合う活動を通じ、自分の考えを深めたり、広げたりできている	89% (+2)	78%
	8	授業で、コンピューターなどのICTをほぼ毎日使用している	67% (-6)	
	9	自分のよいところと言える	80%	73%
	10	「やってみよう」や学級のめあてに向かっていろいろなことに取り組んだ	92%	
	11	きらりんを見つけて書くことができた	63%	
	12	学校のきまりを守って生活できた	92%	
	13	学びスイッチ (学習ルール) を意識して学習に取り組んだ	83%	
	14	家での勉強は、自分で考えて取り組んでいる	88%	
	15	1年前の自分より成長している、力がついている	95%	

昨年度比
+15%

昨年度比
+26%

保護者のみの項目と肯定的評価の割合

保護者	
2学期	
家庭学習に進んで取り組む (1、2年)	70%
家庭学習で自学の進め方が分かる (3年生以上)	67%
勉強や行事、家庭学習等自分の立てた目標に向かって努力している	81%
進んで読書をしている	35%
学習の約束が身に付いている	49%
活動の様子や状況を家庭や地域に伝えている	82%
地域のよさを生かした教育活動	92%
安全な環境づくり	95%
相談しやすい雰囲気	88%
個性を大事にし、育てている	91%
いじめのない学校づくり	89%

多くの項目で高い数値となりました。安心・安全な学校づくりに努め、「やってみよう」を合い言葉に主体的な学びや生活を推進した成果と考えます。運動会の表現運動の継承や選択競技での協力、1年生と6年生のペア活動などを行ったことが、「みんなでなにかするのは楽しい」という実感にもつながっています。また、今年度も「学習面」と「生活面」で見つけた自分やみんなの頑張りを『きらりんカード』に書き、全校に紹介しました。「よいところと言える」(No.9)の肯定的評価については、昨年度より約15%上昇しました。

9割を超える児童が「授業がよく分かる」と感じている一方で、1月に行った「定着度調査」では、よく分かっているグループと文章読解や語彙の不足等により題意が分からず困っているグループに2極化する傾向が顕著になりました。「わからない」という児童をフォローするとともに、今後も子供たちが主体となるおもしろい授業づくりに取り組み、「よくわかる」という実感と定着度の向上をつなげていく予定です。

家での勉強 (No.14) については、昨年度より約26%上昇しました。校内の自学ノート交流会等での取り組みも成果の一つと思われます。しかし、保護者からは、「自学の取り組み方が難しい」との意見も

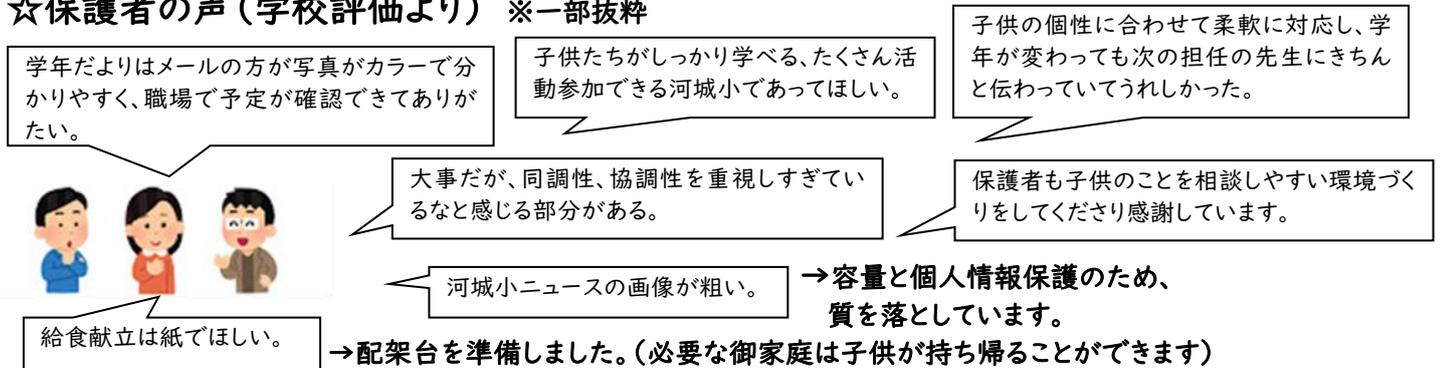
ありました。来年度も、自学で交流したり様々な学び方や内容を紹介したりして、自ら学ぶ力の向上をめざしますので御理解と御協力をお願いします。

また、「進んで読書をしている」と「学習の約束が身に付いている」は、課題として重く受け止めています。読書について保護者からは、本選びの難しさ等についての意見も見られました。朝読書、新刊本の陳列や読書カードの工夫、本の紹介等、本に親しむ場の設定を続け、家庭と共に読書活動を進めます。学習の約束については、「まなびスイッチ」（学習ルール）の取組を家庭に随時お伝えすることで改善を図ります。よろしくをお願いします。

☆保護者の考える児童のよさ とさらにのびたいところ (学校評価より) ※一部抜粋



☆保護者の声 (学校評価より) ※一部抜粋



☆学校運営協議会での御意見

- 子供たちは落ち着いて授業ができていてよい。
- 「きらりんカード」を長年続けており、成果が出ている。価値のある活動である。さらにひと工夫をして活動を盛り上げていってほしい。
- 保護者と学校とのコミュニケーションが大事である。保護者は学校の様子や子供の姿を知ったり話したりする機会をもっと欲しいのではないかと。PTA 活動も PA(保護者)と T(教員)が「子供のため」という思いを共有できるように、保護者を巻き込んだ活動としたい。
- 授業中の「主体的」な表れを「きらりんカード」等でほめる。ほめられた児童はうれしいし、周りの児童も何がよかったのかが分かるようになる。
- 「自分は主体的にやっている」と児童が感じることで、本当に主体的になっていく。

河城小学校
 担当: 系川
 電話: 35-3330